



オフィスロビー全景

虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー

グローバルプレイヤーが住み、働き、集う 「グローバルビジネスセンター」に進化

虎ノ門ヒルズ ビジネスタワーのオフィスロビーはテラコッタ壁面や半鏡面天井の内装材と、植栽や水景、アートにより街に開いたインナーガーデンとした。特に高さ約11mの天井まで続くテラコッタは、オフィスロビーの顔としてダイナミックな印象を与えている。当初、「正面壁は白磁のような白くマットでむらのない垂直ルーバー」と「連続する側壁にも同素材の大判タイル」とする事を目指した。製作に当たり、白さの実現と汚れ対策が課題となった。究極の白さを実現するには基材の土の色にも拘る必要があったが、白土はもろく大きさに限界があり、何度となく試作を繰り返した。汚れ対策として釉薬は不可欠となったが、マットなイメージと矛盾することから、それを逆手にとり、施釉により生まれる貫入を施した。貫入は焼き物の繊細さを表現できる手法であり、ウェーブ形状により繊細かつ柔らかな印象を与えることができた。ルーバーは正面の短辺と側面の長辺で釉薬を変え照明の光の伸び具合にも配慮した。上部からルーバーの正面を照らす光、下部から貫入の入った側面のウェーブを照らし上げる光で、テラコッタの形状や表情をより引き立たせる照明計画とした。(齋藤史恵+布施昇/森ビル)



外観全景

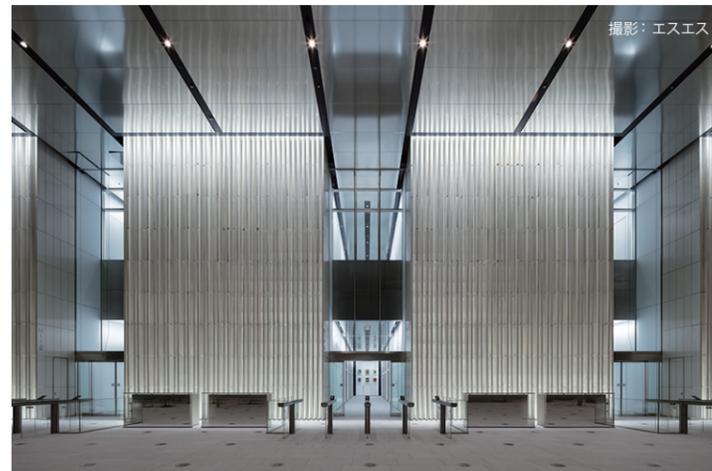
DATA

施行者：虎ノ門一丁目地区市街地再開発組合
 設計：森ビル株式会社一級建築士事務所
 建築デザイン：インゲンホーフ・アーキテクトほか
 施工者：株式会社大林組、株式会社きんでん、三機工業株式会社、斎久工業株式会社
 所在地：東京都港区虎ノ門1-17-1 他
 竣工：2020年1月

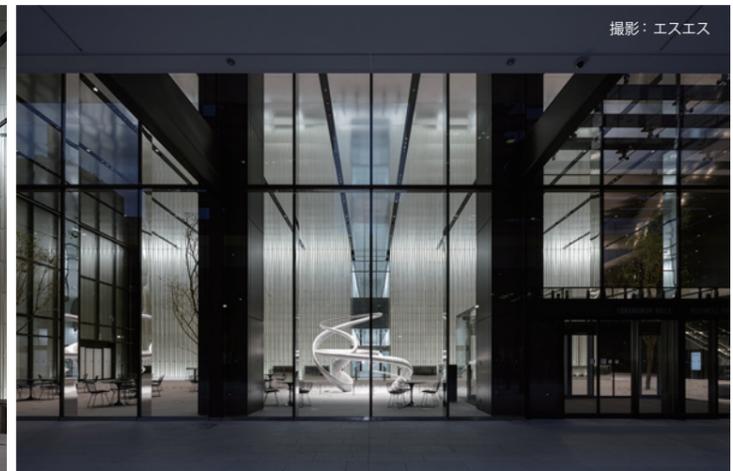
商品情報

内装壁タイル：TL-294×1190×23/TYPE-A/E1710-232、TL-300×1190×75/E1710-232

内観・外観

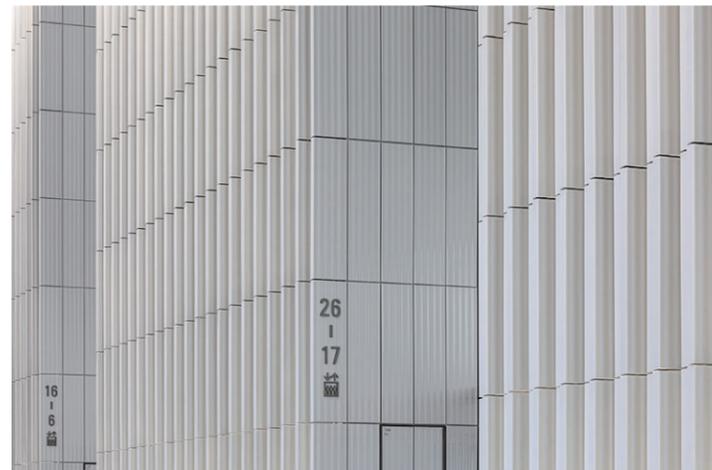


オフィスロビー内装



オフィスロビー外観(夜間)

内観・ディテール



内装壁面

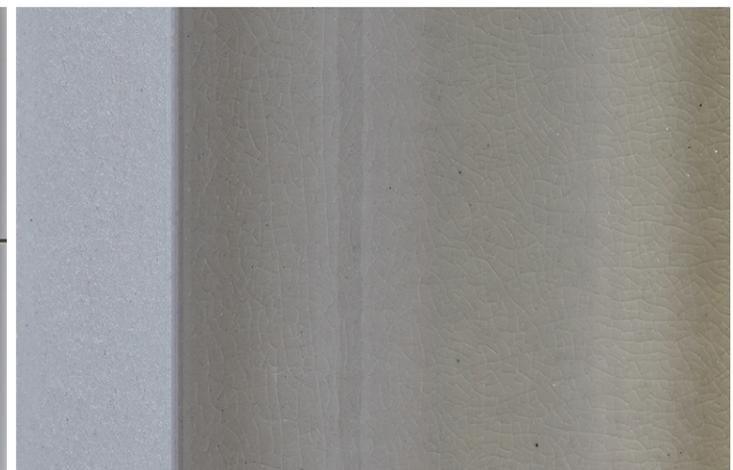


内装壁面テラコッタディテール

ディテール



内装壁面テラコッタディテール



内装壁面テラコッタディテール